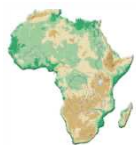


もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



月刊アフリカニュース

2014年 4月 1日 No. 8

今後、多くの公館から情報を頂けるようになったので、フォーマットを変更し、各国の「主な出来事」のみを「月刊アフリカニュース」に掲載いたします。各国の詳細な情報は記事の下に記してあるURLを開いてください。従来通りの情報が載っております。

ウガンダ月報（2014年1月）

主な出来事

【内政】

- 14日、ウガンダ国民議会はウガンダ国軍の南スーダン派兵を承認する決議を可決。
- 17日、オウラ陸尉がセジュサ将軍の後任としてウガンダ国軍（UPDF）代表議員に選出。
- ムセベニ大統領はカダガ国民議会議長宛親書の中で、反同性愛者法案の再審議を要請。

【外政】

- 9日、カダガ国民議会議長は、当地西側諸国外交団（大使）に対し、反同性愛者法案を通過させないための圧力をかけることを止めるよう要請。
- 15日、ムセベニ大統領は、UPDFが南スーダン軍（SPLA）に協力して、反政府勢力と戦闘状態にあることを表明。一方、26日、UPDF派兵はウガンダ国民の経済権益を守るためと発言。

【経済】

- スタンダード・アンド・プアーズ社、政府歳入の減少及びドナーによる援助一時停止にもかかわらず公共投資が増加したことを理由に、ウガンダの長期外貨建て・内貨建てソブリン格付けを「B+」から「B」へ格下げ。
- 初の国家労働調査によれば、ウガンダの正規雇用者の平均月給は50万シリング（約200米ドル）、非正規雇用者の平均月収は12.33万シリング（約49.32米ドル）であることが判明。
- IMF、インフラ投資を増加させるため、非譲許的借入の限度額を15億米ドルから22億米ドルに引き上げたいとするウガンダ政府の要請を承認。
- 1月のインフレ率6.9%（前月6.7%）。

【経済協力】

- 中国、PK0 部隊として派遣されるウガンダ軍の能力開発のため、無償資金 200 万中国元（約 332 万米ドル）をウガンダ軍に供与。
- 28日、ムセベニ大統領や当地出張中の田中 JICA 理事長が出席し、我が国有償資金協力「ナイル架橋建設計画」の起工式が実施された

<http://ab-network.jp/wp-content/uploads/2014/03/274bc1c58cf94b147ecb73052c168a22.pdf>

コンゴ（共）月報（2014 年 1 月）

主な出来事

【内政】

- ンブル内務・地方分権大臣は、地方選挙を 2014 年前半に実施する旨述べた。

【外政】

- 17日、サス・ンゲソ大統領が訪仏し、ジョトディア大統領辞任後の中央アフリカ情勢について、オランド大統領と会談した。

【経済】

- 経済特区関連法案、3月に国会提出予定。
- 25日、アフリカ初となるニュース専門チャンネル Africanews 開設に係る協力議定書が署名された。

<http://ab-network.jp/wp-content/uploads/2014/03/e7d416fa1ef5901c7f5b2052bc5c7421.pdf>

セネガル月報（2014 年 1 月）

主な出来事

【内政】

- ワッド政権下で公金横領に関与した疑いで拘束されているアイダ・ンジョング元上院議員が保有する財産の総額が 470 億 Fcfa に上ることが明らかにされた。

- 全国の民間賃貸住宅の賃料を、一か月当たり 15 万 Fcfa 未満の住宅は 29%、15 万 Fcfa 以上 50 万 Fcfa 未満の住宅は 14%、50 万 Fcfa 以上の住宅は 4%引き下げる法律が公布された。

【外政】

- 10・11日、中国の王毅外交部長がセネガルを訪問し、サル大統領が2月に訪中する旨発表した。
- 4日、セネガル領海内で違法に操業したとしてロシア漁船オレグ・ナイデノフ号がセネ

ガル海軍に拿捕された。ロシア政府は合計 6 億 Fcfa の罰金の支払いに応じ、同船は 22 日に解放された。

【経済】

● 西アフリカ経済通貨同盟 (UEMOA, 加盟国 8 か国) は, 2014 年中に, 域内にてインフラ, 人材開発への投資を目的とした国債を発行する旨を発表した。総額は 2.37 兆 Fcfa, うち, 対セネガルは 6,800 億 Fcfa となる。・ グランド・コット・オペレーション (GCO) 社は, 4 月にティエス州ティヴァワン県海岸沿いのジヨゴにてジルコンの採掘・輸出を開始する予定。今後 20 年間, 世界第 3 位 (全市場の 7%) の採掘量となる見込み。

<http://www.sn.emb-japan.go.jp/pdf/jp/sn/geppou1401.pdf>

ブルンジ月報 (2014 年 1 月)

主な出来事

【内政】

- 28 日、警察の一斉捜査によりブジュンブラ・ルーラル県で大量の武器が押収される。
- 29 日、ブジュンブラ上訴審がブジュンブラ弁護士会会長を除名処分。
- 31 日、内務大臣が UPRONA 党の現党首を正統な党首と認めないと決定。

【外政】

- 12 日～17 日、セーガー・スイス国連常駐代表 (Mr. Paul SEGER、国連平和構築委員会・ブルンジ国別会合議長) がブルンジを訪問。
- 24 日、米ブルンジ地位協定 (Status of Forces Agreement、SOFA) が署名される。

【経済】

- 23 日、2013 年のインフレ率は 7.9% と財務相発表。
- 23 日、ブルンジ歳入庁は 2013 年第 4 四半期レポートを発表。同期の税收 1381.5 億ブルンジ・フラン (BIF)、2013 年の歳入計 5595.1 億 BIF と発表。

<http://ab-network.jp/wp-content/uploads/2014/03/5886c9300fdb7d9b3baffe7814c6fe87.pdf>

ルワンダ月報 (2014 年 1 月)

主な出来事

【内政】

●7日、1994年のツチ族に対するジェノサイド追悼20周年のキックオフ式典が、キガリ市のジェノサイド記念館で開催された。同追悼記念本式典は4月7日に開催される。

【外政】

●30日、カガメ大統領は、第22回AU総会に出席し、開会式において、ルワンダ民主解放勢力(FDLR)の即時解体を呼びかけた。

●16日、中央アフリカ支援国際ミッション(MISCA)へ、850名のルワンダ平和維持活動(PKO)部隊が派遣された。

【経済】

●14日、ルワンダ国家統計局(NISR)は、2013年第3四半期のGDP成長率が3.9%であり、前年同期の6.7%から減少した旨公表した。

http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda_news_2014.1.pdf

アンゴラ月報 (2014 年 1 月)

主な出来事

【内政】

●新たに商務省副大臣(貿易担当)が任命

【外政】

●アンゴラ、大湖地域国際会議議長国に就任

【経済】

●陸上油田鉱区の入札につき発表

http://www.angola.emb-japan.go.jp/document/report/201401angola_report.pdf